



## クロール・オントラック社クライアントのための「よくある質問&回答集(FAQs)」

### 1. 本日何が発表されたのですか？

この度、LDiscovery とクロール・オントラックが合併し、1 つの会社になります。新会社の体制は、現在の LDiscovery 体制を引き継ぎ、の経営母体であるカーライル・グループとレボリューション・グロース社が経営を運営する形をとることになります。

カーライル・グループとレボリューション・グロース社による財政上、および、マーケティング上のサポートにより、製品やサービスへの投資、改革の加速、そして、現存するマーケット、今後の新マーケット両方のより急速な拡大を可能にします。

これら 2 つの会社とも、技術、業務、顧客サービスにおいて、大きな強みを持っており、それらの強みは互いに補い合っています。世界におけるトップ 2 社の e ディスカバリーとデータ復旧業者の内の一つとして、合併によってできる新会社は、お互いのクライアントに対し、クラス最高の e ディスカバリーとデータ復旧を提供する業者と位置付けられるでしょう。

合併によってできる新会社では、クリス・ワイラー氏が CEO（最高経営責任者）を、マーク・ウィリアムス氏は社長、および、COO（最高執行責任者）を務めます。そしてこの両方のリーダーとも新会社の取締役会の一員として就任いたします。

### 2. LDiscovery 社とはどんな会社ですか？

LDiscovery 社は 2005 年に設立され、米国における最大の e ディスカバリー業者の 1 つへと急速に成長しました。バージニア州マクレーン（ワシントン DC の近く）に本部を置き、ニューヨーク、フィラデルフィア、サンフランシスコ、ロサンゼルス、オースチン、フォート・ローダーデールにオフィスを持っています。同時に、バージニア州、テキサス州、カリフォルニア州とロンドンにおいては、完全な処理能力、および、Relativity データ・ホスティング能力を有しています。

LDiscovery 社は、Inc. Magazine と Deloitte 社の 2 つのランキング（Inc. 5000 で 5 年連続、Deloitte テクノロジー企業ランキング Fast500 で 5 年連続）両方によって、北米における、最も急速に成長した企業の 1 つとして認識されてきました。設立者であり、CEO（最高経営責任者）であるクリス・ワイラーは、2014 年の Ernst & Young Entrepreneur of the Year の受賞者であります。



過去数年に渡り、この会社は、買収を通して、そして同様に、企業の成長を通して、その足跡を積極的に拡大させてきました。LDiscovery社は、ワールドクラスの遠隔情報収集ツールとESI（Electronically stored information 電子的蓄積情報）の処理プラットフォームを通じた経営効率を実現することによって、8つの会社をうまく統合しました。これによって、販売とプロジェクト管理プロセス全体を通して上質な顧客サービスを維持し、会社の文化的価値を注ぎこむことによって、すべての買収された会社による結束力の高い集中的なチームを創り上げることができます。

### **3. クロール・オントラック社、クロール社の両社と一緒に仕事をしていくことになるのですか？（クロール・オントラック社とクロール社の共同クライアント向け Q & A）**

はい。

クロール・オントラック社とクロール社は、両社とも、互いのクライアントに対してサービスを提供し続けることを確約します。2社は一緒になってクライアントに大きな利益をもたらします。

### **4. 今回の変化は、クライアントにどのような影響を及ぼしますか？**

一旦、この合併に関する手続きが完了すれば、クロール・オントラック社のクライアントは、LDiscovery社の所有するeディスカバリー技術すべてから大きな利益を得ることができるでしょう。これには、遠隔情報収集のツール、ESI処理プラットフォーム、および、クラウド処理とホスティングのプラットフォームであるeDirect365TMが含まれます。両社は、それぞれ、eディスカバリー産業の最も進んでいて頑強なホスティング・インフラと同様に、受賞歴のあるRelativityの統合を、新会社にもたらすことができます。2社が一つになることで相乗効果が生まれ、この効果により、より高い効率を達成するでしょう。LDiscovery社は、その高品質で上級なクライアント・サービスとサポートで知られており、そのため、クロール・オントラック社のクライアントは、業界最高レベルのサービスを受けることになると確信できるでしょう。

合併の手続きが完了するまでは、LDiscovery社とクロール・オントラック社は、別々の会社として活動を続けます。私たちは、普段通り事業を行いますので、クライアントは通常と同じクオリティーのサービスを受けることができます。クライアント・サポートと事業発展チームに関しては、何も変わりはありません。クライアントが現在使用しているプラットフォームと製品にも変わりはありませんし、クライアントのデータが移動されることもありません。



両社と進行中のプロジェクトをお持ちのクライアントは、両社との現在の契約による関係性を引き続き維持することになります。クライアントは、合併の手続き終了後、短期間のうちに、協同セールス・チームから報せを受け取るようになるでしょう。

## 5. いつ合併の手続きが完了するのでしょうか？

2016 年末を予定しておりますが、詳細が確定次第 Home Page 上でご報告いたします。

## 6. 質問があった場合、誰に連絡をとったらよいのですか？

まず東京事務所にご連絡ください。03 – 3509 – 7110

## 7. LDiscovery 社について教えてください。

LDiscovery 社は 2005 年に設立され、バージニア州マクレーンに本部を置き、法律事務所、民間企業、政府機関に対し、幅広い、法律および技術に関するコンサルティング・サービスを提供しています。LDiscovery 社のスタッフは、法律家、技術者、コンピューター犯罪専門家、および、訴訟サポートを行う専門家から成り、クライアントの訴訟、法規制遵守、内部調査などのニーズをサポートする、クラス最高レベルの幅広い e ディスカバリー・ソリューションを提供するトップ企業です。LDiscovery 社は、データ収集、犯罪捜査、訴訟ケース評価、証拠開示の電子的手続き、データ処理、アプリケーション・ソフトウェア、ウェブ・ベース文書審査のためのデータ・ホスティング、および、管理された法的見直しのサービスを提供します。

LDiscovery 社は、Inc. Magazine と Deloitte 社の 2 つのランキング（Inc. 5000 で 5 年連続、Deloitte テクノロジー企業ランキング Fast500 で 5 年連続）両方によって、北米における、最も急速に成長した企業の 1 つとして認識されてきました。設立者であり、CEO（最高経営責任者）であるクリス・ワイラーは、2014 年の Ernst & Young Entrepreneur of the Year の受賞者であります。さらに、LDiscovery 社は、Orange-level Relativity Best in Service Partner の一つであり、Relativity Premium Hosting Partner の一つです。そして、そのデータ・センターは、ISO/IEC 27001 の認証を取得しています。

## 8. カーライル・グループについて教えてください。

カーライル・グループ（NASDAQ のコードは CG）は、世界規模のオルタナティブ（代替）資産管理会社であり、2016 年 6 月 30 日時点で、128 のファンド、および、170 のファンド・オブ・ファンズの資産管理を行っており、1760 億ドルの運用資産を有しています。カーライルの目標は、賢明な投資を行い、投資家のために価



値を創造することです。その投資家の多くは公的年金基金です。カーライルの資金運用は、4つに分かれています。民間企業の未公開株、不動産、グローバル・マーケット・ストラテジー、インベストメント・ソリューションです。地域としては、アフリカ、アジア、オーストラリア、ヨーロッパ、中東、北米、南米に渡っています。カーライルは多種多様な業界についての専門的な知識を有しており、これには、航空宇宙産業、防衛・政府サービス、消費財・小売、エネルギー、金融サービス、ヘルスケア、製造業、不動産、テクノロジー・ビジネスサービス、通信・メディア、運輸などが含まれます。カーライル・グループは6大陸に渡り、35のオフィスで1650名を越える社員を雇用しています。[www.carlyle.com](http://www.carlyle.com)

### **9. レボリューション・グロース社について教えてください。**

スティーブ・ケース氏、テッド・レオンシス氏、ドン・デービス氏らによって設立され、率いられてきた投資会社です。レボリューション・グロース社は、世界に変革をもたらすような会社に投資しています。その使命は、既存の価値観を打ち砕くような革新的な事業を創造し、消費者に対し、人生でより多くの選択肢と便利さ、および、人生に対するコントロールを提供することです。レボリューション・グロース社は、長期に渡ってアプローチし、起業家や経営陣と真に実践的なパートナーシップを形成していくことによって、ユニークな戦略と熱意で投資を行い、重要な企業を創り上げていきます。詳しくは、[www.revolution.com/growth](http://www.revolution.com/growth) をご参照ください。